

2015年5月15日

# 2015年3月期 決算説明会資料



**新田ゼロチン株式会社**

代表取締役社長 **尾形 浩一** (おがた こういち)

福島県出身 1957年(昭和32年)7月8日生 57歳

- 1981年 3月 東北大学理学部卒業
- 1981年 4月 カネボウ食品(株)[現クラシエフーズ(株)]入社
- 2005年12月 当社入社
- 2008年 3月 営業本部開発部長
- 2010年 6月 執行役員
- 2012年 6月 取締役
- 2013年 3月 営業本部長
- 2015年 4月 代表取締役社長

1. 事業概要
2. 2015年3月期実績
3. 新経営方針
4. 2016年3月期業績予想
5. トピックス

## 〈ご案内〉

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

# 1. 事業概要

## 会社概要

会社名	新田ゼラチン株式会社（Nitta Gelatin Inc.）
代表者	代表取締役社長 尾形 浩一（おがた こういち）
本社	大阪市浪速区桜川4丁目4番26号
創業	1918年（大正7年）1月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード 4977）
資本金	3,144百万円
連結売上高	319億円（2015年3月期）
連結従業員数	595名（2015年3月末現在）

## 事業セグメント・部門と主要製品

事業セグメント	部門	製品	用途
コラーゲン 素材事業	ゼラチン	食品用	グミやマッシュマロ等の製菓、各種食品、コンビニ惣菜、冷凍食品等
		カプセル用	ハード・ソフトカプセル、ミニカプセル等
		写真用	カラーフィルム、レントゲンフィルム、 印画紙等
	ペプチド	コラーゲンペプチド	栄養補助食品、サプリメント、 機能性栄養食品等
	ケーシング	コラーゲンケーシング	ソーセージ、フランクフルト、スナック、 サラミ等
	ライフ サイエンス	コラーゲン、ゼラチン	組織培養用研究試薬、人工皮膚、 人工骨、DDS、細胞移植等
フォーミュラ ソリューション 事業	食品材料	食用ゲル化剤 各種品質安定剤	デザートゼリー、総菜、畜肉製品等
	接着剤	シーリング材(高機能樹脂)	スマートホン、携帯電話、タブレット、 デジタルカメラ等
		ホットメルト形接着剤	包装、製本、建材、衛生材料等
		にかわ系接着剤	製本、紙器、紙工等

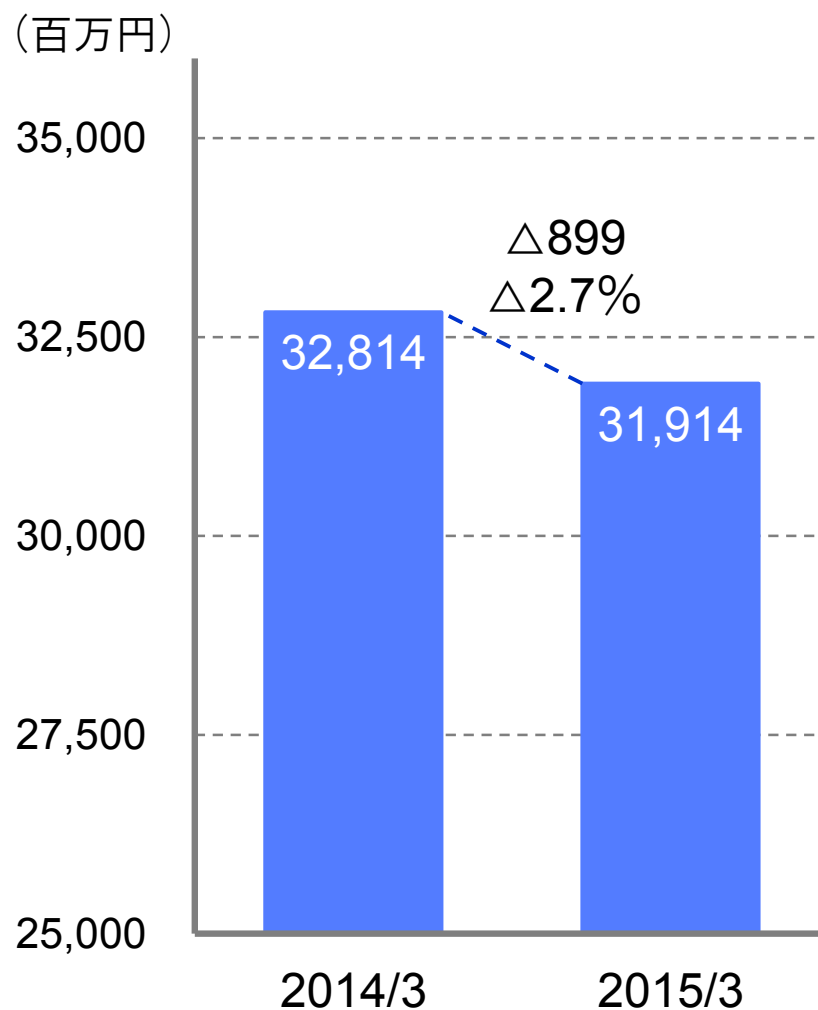
## 2. 2015年3月期実績

## 業績推移 ①: 売上高

売上高: 31,914百万円

前年比:  $\Delta 899$ 百万円  
 $\Delta 2.7\%$

- 北米の一時的な需要減
- 消費税増税の駆け込み需要反動
- 天候不順による需要低迷





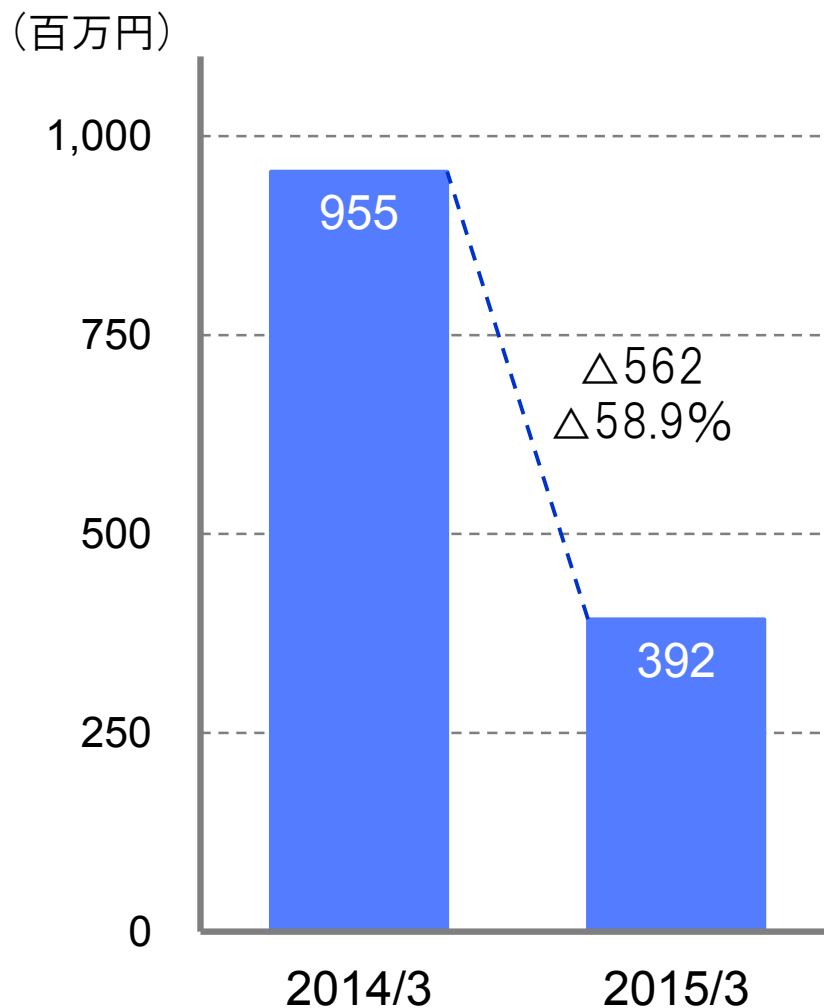
## 業績推移 ②: 営業利益

営業利益: 392百万円

前年比:  $\Delta 562$ 百万円

$\Delta 58.9\%$

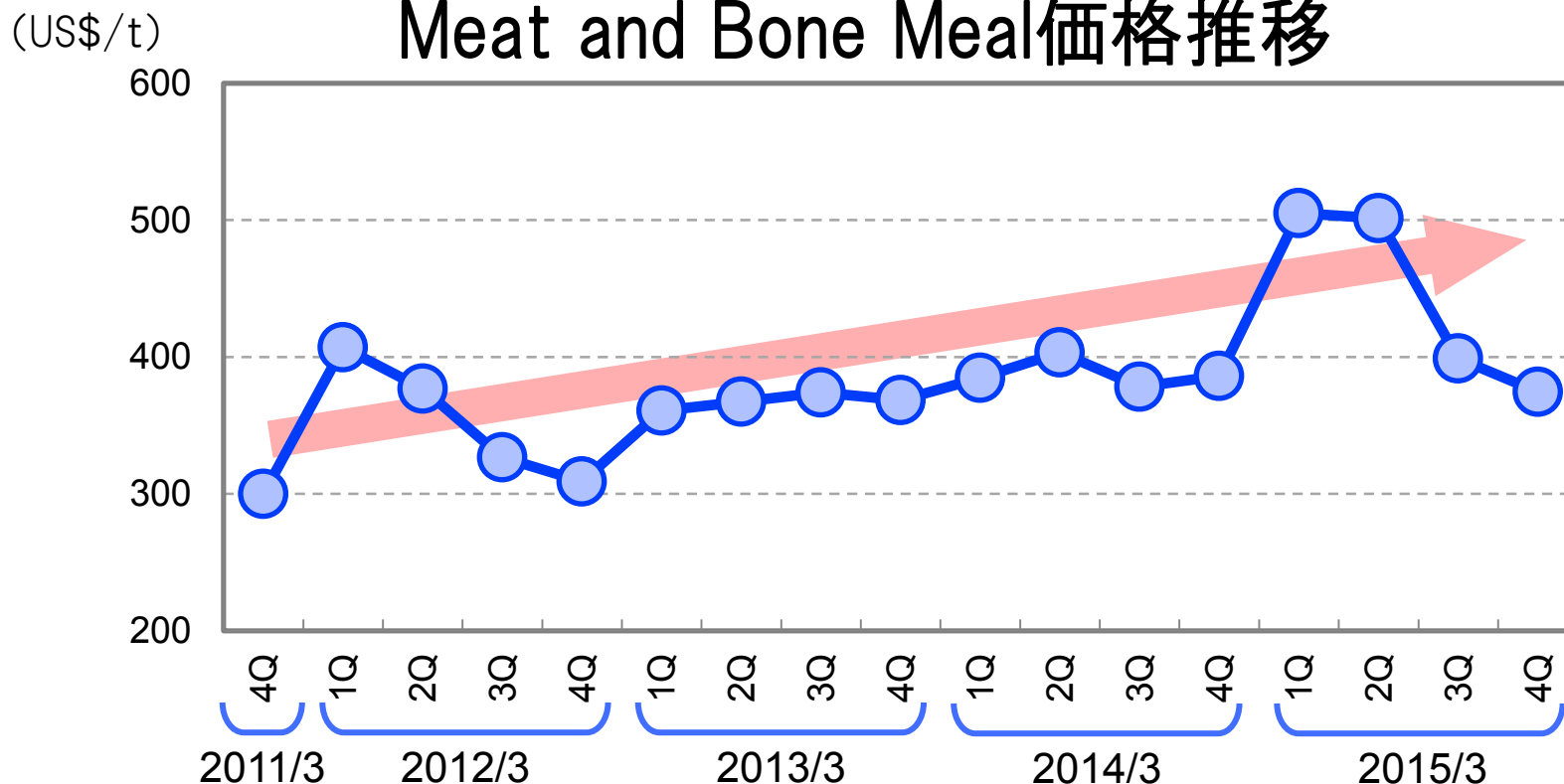
- 原料価格上昇
- エネルギーコスト上昇
- 円安
- 売上の減少



# 減益要因 ①

## 海外原材料価格の上昇

### Meat and Bone Meal価格推移

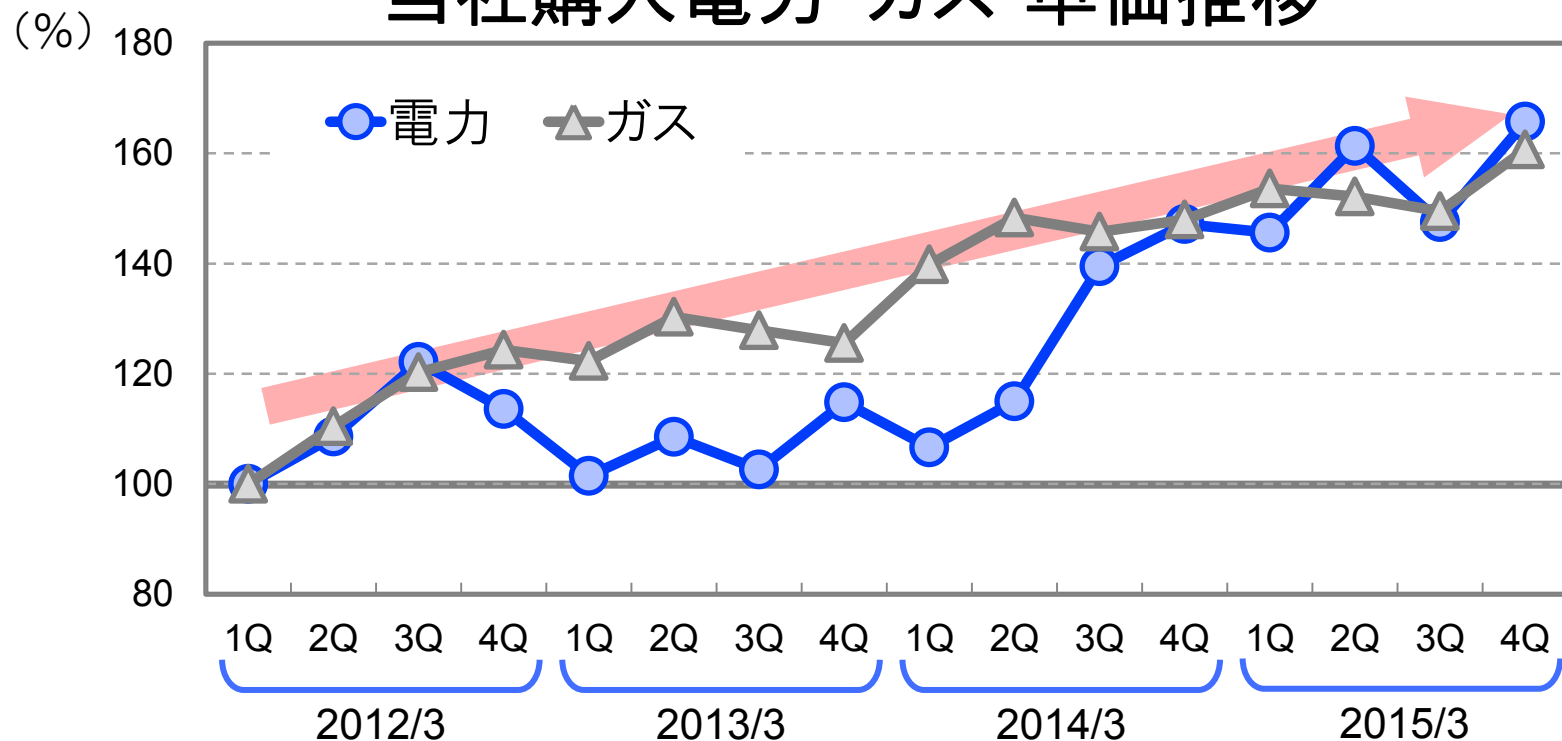


出展: Brian Gould, Agricultural and Applied Economicsデータを当社集計

## 減益要因 ②

# 日本におけるエネルギーコストの上昇

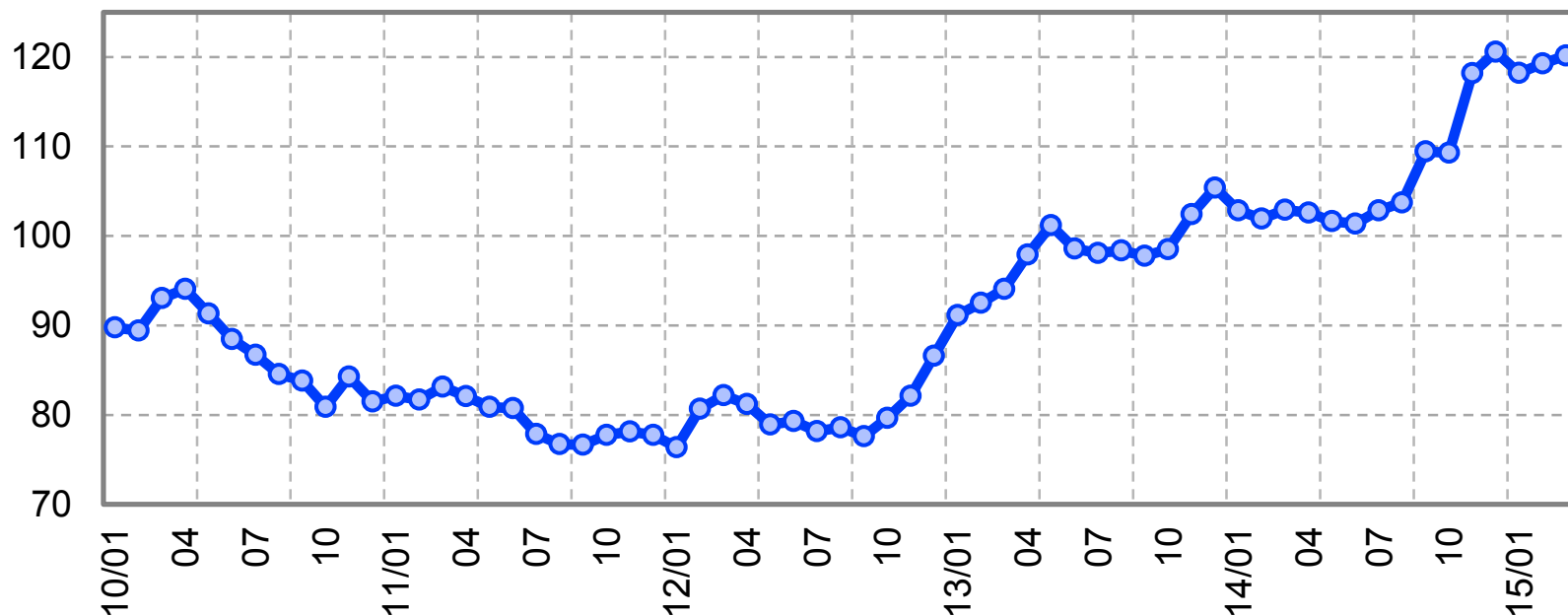
### 当社購入電力・ガス 単価推移



## 減益要因 ③

# 円安による輸入仕入れコストの高止まり

(円/US\$) 外国為替推移 (期末TTMLレート)



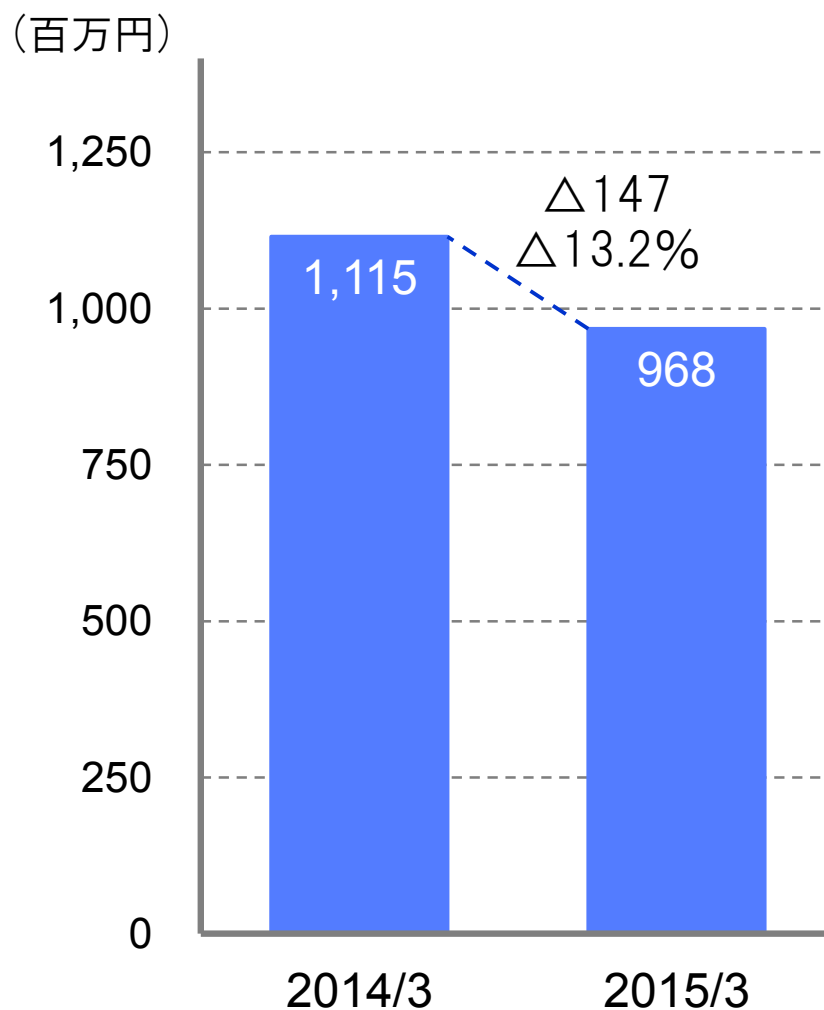
## 業績推移 ③： 經常利益

經常利益： 967百万円

前年比：  $\Delta 147$ 百万円

$\Delta 13.2\%$

■ 為替差益増加



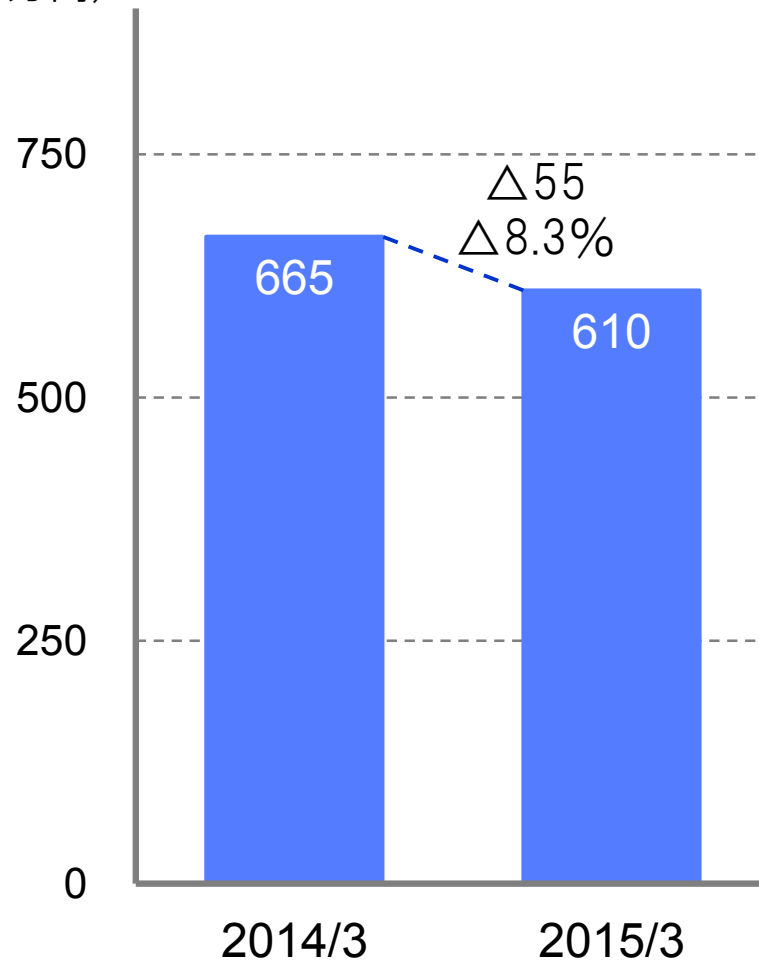
## 業績推移 ④：当期純利益

当期純利益： 610百万円

前年比：  $\Delta 55$ 百万円

$\Delta 8.3\%$

(百万円)



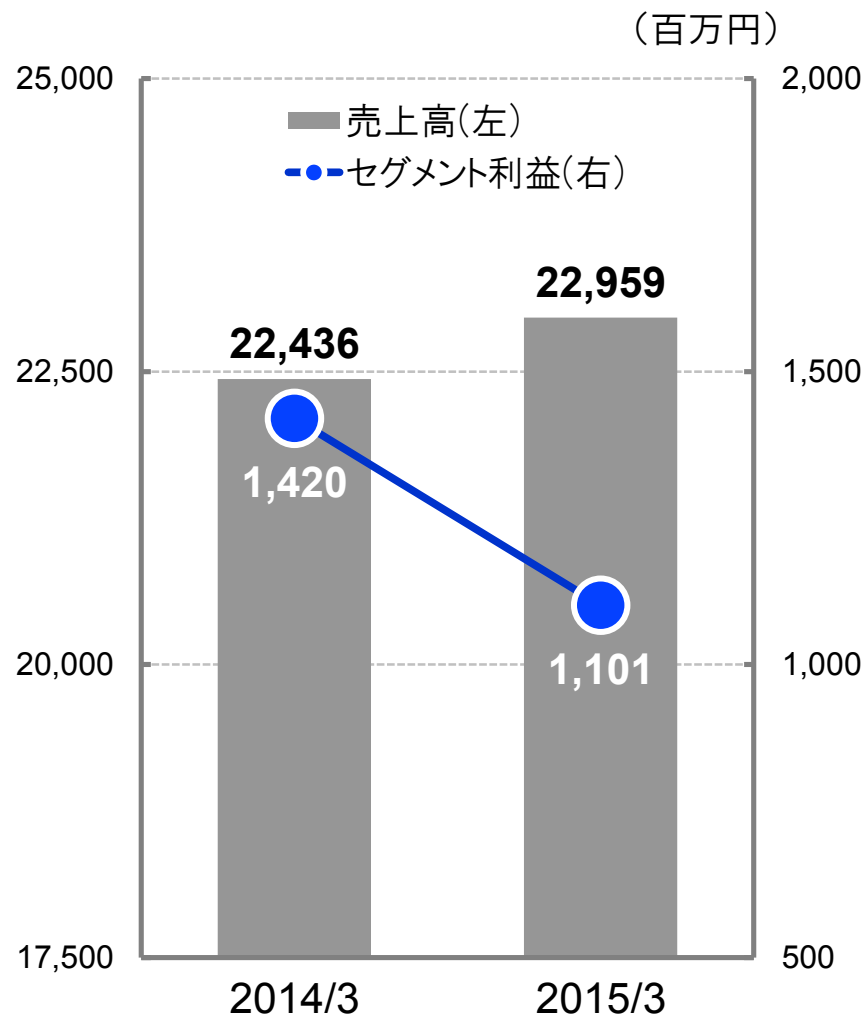
## コラーゲン素材事業

売上高: 22,959百万円

前年比: +522百万円  
+2.3%

セグメント利益: 1,101百万円

前年比: △318百万円  
△22.4%



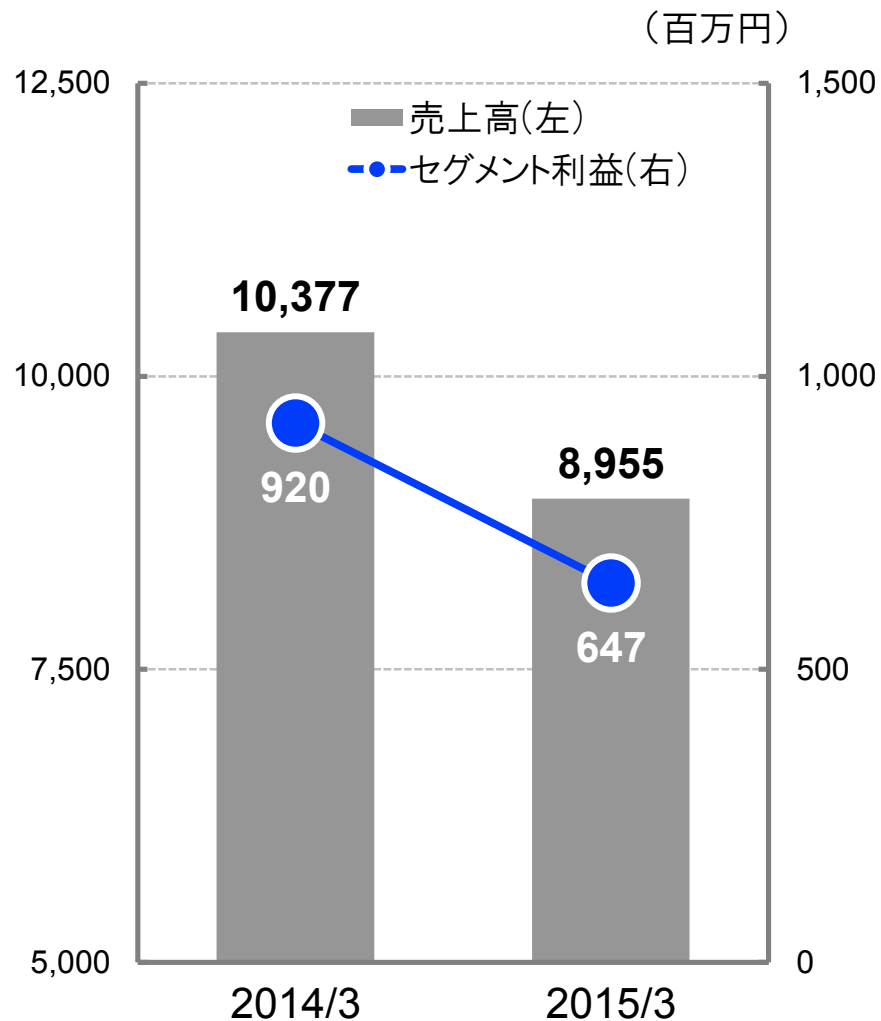
## フォーミュラソリューション事業

売上高： 8,955百万円

前年比：  $\Delta 1,421$ 百万円  
 $\Delta 13.7\%$

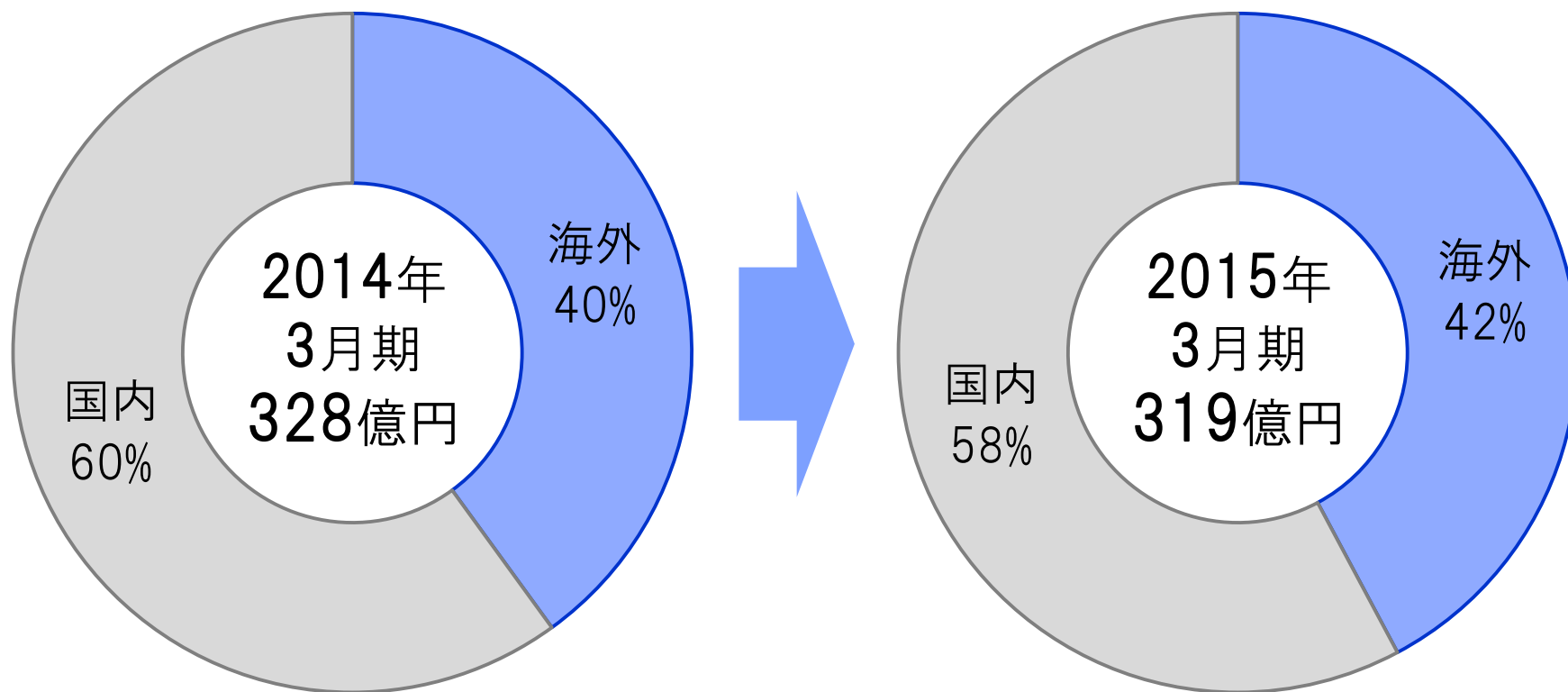
セグメント利益： 647百万円

前年比：  $\Delta 272$ 百万円  
 $\Delta 29.6\%$





## 国内外売上比率



## 貸借対照表 (B/S)

- 有形固定資産取得により固定資産増加
- 株主資本、包括利益増加により純資産増加

(百万円)	2014/3	2015/3	増減
流動資産	18,685	18,038	△646
現金・預金	2,426	2,622	+196
受取手形・売掛金	8,164	6,726	△1,438
たな卸資産	7,642	8,221	+579
その他流動資産	452	467	+15
固定資産	12,704	15,893	+3,188
有形固定資産	8,804	10,848	+2,044
無形固定資産	50	69	+18
投資等	3,849	4,974	+1,125
資産合計	31,389	33,932	+2,542

(百万円)	2014/3	2015/3	増減
流動負債	10,080	10,274	+194
支払手形・買掛金	4,255	3,768	△486
短期借入金・社債等	3,054	3,832	+778
その他流動負債	2,770	2,673	△97
固定負債	7,528	8,283	+755
長期借入金等	4,415	4,867	+451
退職給付引当金	2,561	2,700	+138
その他固定負債	550	715	+164
負債合計	17,608	18,558	+949
株主資本	14,734	15,423	+688
その他包括利益累計額合計	△1,097	△152	+945
少数株主持分	144	102	△41
純資産合計	13,781	15,373	+1,592
負債純資産合計	31,389	33,932	+2,542

## キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

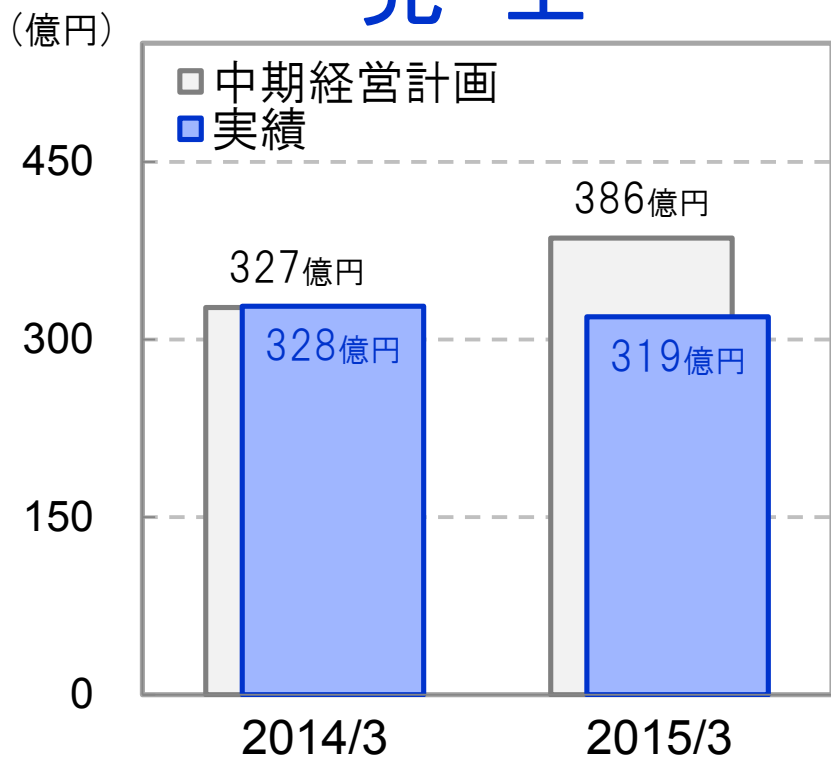
- 営業CF: 売掛金の債権譲渡による獲得
- 投資CF: 設備投資による使用
- 財務CF: 借入による獲得(去年は公募増資による獲得)

(百万円)	2014/3	2015/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	△692	2,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,105	△2,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,875	544
現金及び現金同等品の増加額	147	196
現金及び現金同等品の期末残高	2,406	2,602

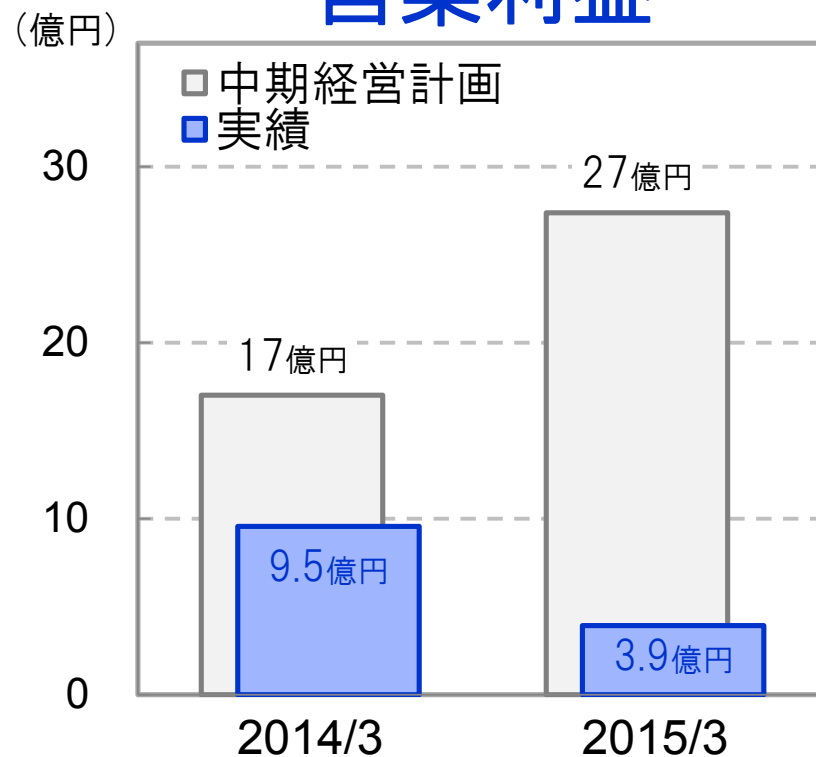
# 3. 新経営方針

## 中期経営計画と実績の比較

### 売上



### 営業利益



中期経営計画中止へ

## 設備投資進捗状況

	2014/3	2015/3	合計
計画	3,800	5,400	9,200
実績	2,949	2,449	5,398
差異	△851	△2,951	△3,802

- 中国ケーシング ひだ寄せ設備完成(2013/7)
- 米国ケーシング 生産性向上実証ライン完成(2014/5)
- 米国ペプチド工場完成(2014/5)
- ベトナム工場 ゲル化剤工場完成(2014/8)
- 接着剤事業新棟 AIC(Adhesive Innovation Center) 完成(2014/8)

新スローガン

「新たな視点で 次のステージへ」

基本戦略

「質の追求」

戦略課題

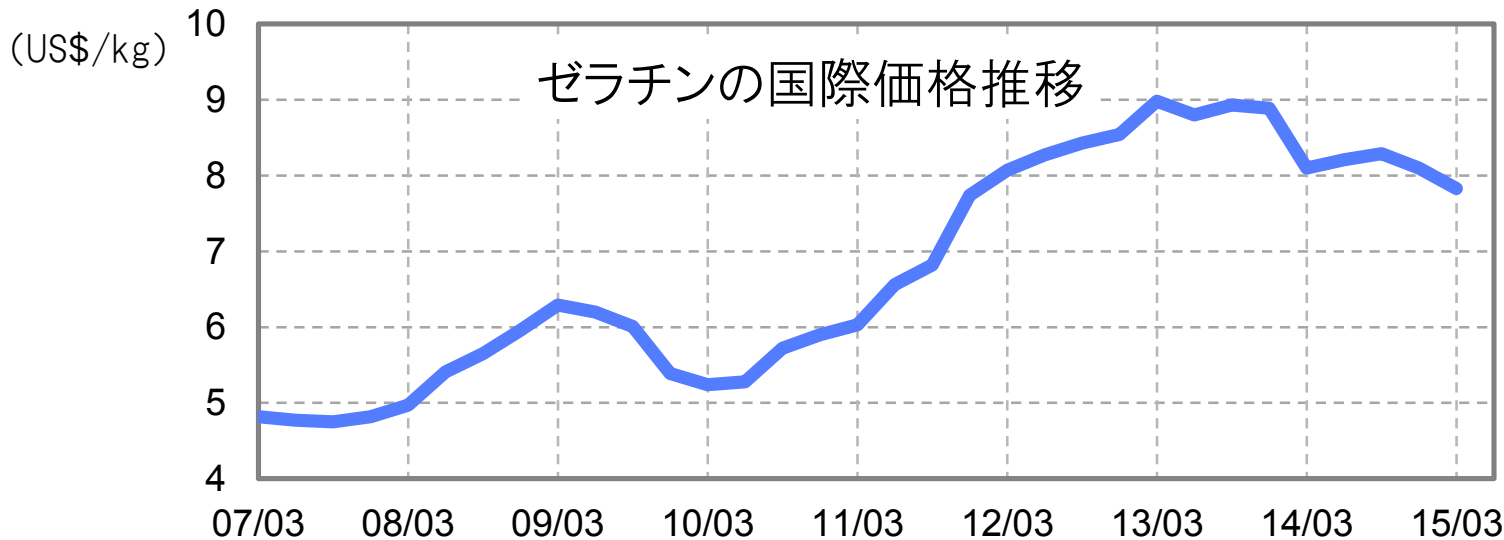
- ① 高付加価値製品の開発
- ② 最適生産・最適販売
- ③ グローバル経営基盤の強化

## 4. 2016年3月期業績予想



## 外部環境の認識

- ゼラチンの国際価格は、需要増加、原料タイトを背景に高止まり
- アジア諸国のゼラチン、ケーシング、ペプチドの需要伸長
- 円安継続
- 豚皮原料供給安定化
- BSE規制緩和、機能性表示規制緩和



出典:IMR INTERNATIONAL

## 事業戦略

部門	戦略課題	今後の施策
ゼラチン	<ul style="list-style-type: none"> <li>最適生産・最適販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地産地消の推進</li> <li>新規原料開拓</li> </ul>
ペプチド	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wellnexのトップブランド化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能性ペプチド開発</li> <li>アジアでの新市場創出</li> </ul>
ケーシング	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産力増強と高品質化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高付加価値ケーシングの開発</li> </ul>
食品材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>新製品・用途開発により価値を創造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合食品企業との取引拡大</li> <li>伸長市場での販売拡大</li> </ul>
接着剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>再成長の為の事業構造改革</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高機能樹脂(G-zain)の事業拡大</li> <li>ホットメルト形接着剤の事業領域の拡大</li> </ul>

## 2016年3月期予想

(百万円)		2015/3	2016/3	14/3期比
		(実績)	(計画)	
売上高		31,914	<b>38,100</b>	+19.4%
営業利益		392	<b>1,400</b>	+256.6%
	利益率	1.2%	<b>3.7%</b>	—
経常利益		967	<b>1,100</b>	+13.7%
	利益率	3.0%	<b>2.9%</b>	—
当期純利益		610	<b>200</b>	△67.2%
	利益率	1.9%	<b>0.5%</b>	—

## セグメント別売上予想

(百万円)	売上			セグメント利益		
	2015/3 (実績)	2016/3 (計画)	増減	2015/3 (実績)	2016/3 (計画)	増減
コラーゲン素材事業	22,959	<b>28,700</b>	+25.0%	1,101	<b>2,000</b>	+81.6%
フォーミュラソリューション事業	8,955	<b>9,400</b>	+5.0%	647	<b>800</b>	+23.6%
(消去又は全社)	—	—	—	△1,356	<b>△1,400</b>	—
合計	31,914	<b>38,100</b>	+19.4%	392	<b>1,400</b>	+256.6%

## インド関係会社の連結子会社化

2015年4月1日(見なし取得日)

- **Nitta Gelatin India Ltd.**

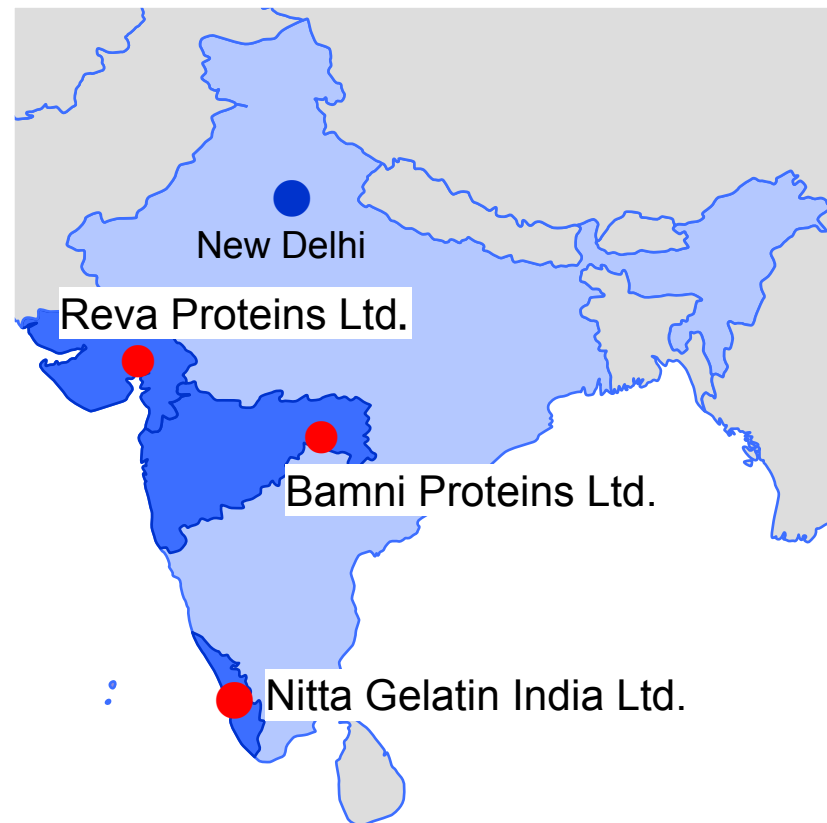
ゼラチン、コラーゲンペプチド、  
ゼラチン原料の製造販売

- **Bamni Proteins Ltd.**

ゼラチン原料の製造販売

- **Reva Proteins Ltd.**

ゼラチン原料の製造販売



インド関係会社の  
連結子会社化に伴う特別損失について

時価と簿価の差

特別損失：△620百万円

## 設備投資

(百万円)	2014/3 (実績)	2015/3 (実績)	2016/3 (計画)
設備投資額	2,949	2,449	2,500
減価償却費	914	1,115	1,750

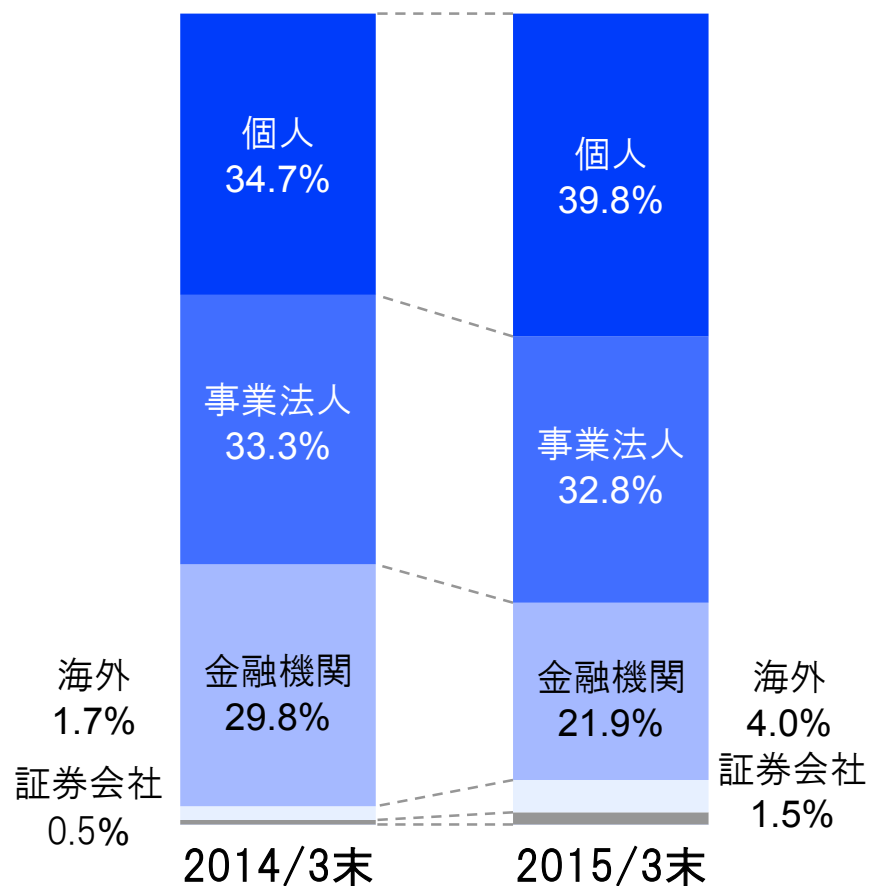
### 2016/3 主要な設備投資の概要

- インド：品質向上、安定生産設備の導入
- 北米：生産性向上設備の導入
- 日本：生産性向上設備の導入

## 株式分布変化

### 株式数

18,373千株

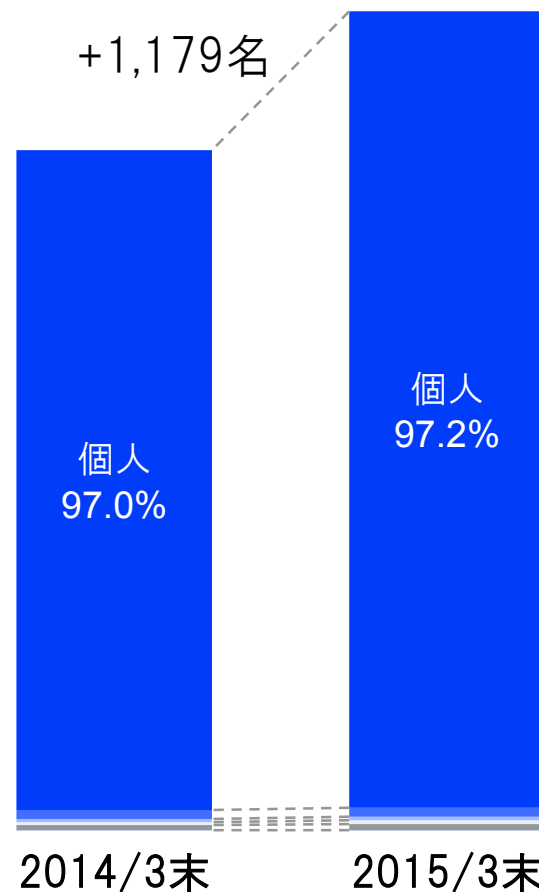


### 株主数

5,781名

6,960名

+1,179名





## 株主還元

### 〈予定配当金〉

2015年3月期： 期末配当 6円

2016年3月期： 12円(中間普通配6円＋期末普通配6円)

### 〈株主優待制度〉

今後も継続予定

#### 実施内容

- 100株～500株未満：  
1,000円相当の(自社商品用)お買物優待券
- 500株以上：  
3,000円相当の自社商品(健康食品等)

## 5. トピックス

- BSE規制緩和

- 米国原料の食用ゼラチンへの使用が可能に

- 機能性表示規制緩和

- 健康食品市場活性化により、コラーゲンペプチドの販売拡大

# ifia® JAPAN 2015

第20回 国際食品素材／添加物展・会議

## 出展予定

東京ビッグサイト 2015年5月20日～22日

当社のアプリケーション力、  
提案力で、お客様と協同で  
商品開発できることを強調



ifia JAPAN 2013 出展風景

---

ご清聴ありがとうございました



**新田ゼンチン株式会社**

